

「直ぐに分かる切削加工技術のツボ」

— 科学で切削の本質を理解する —

講師：東京大学 名誉教授 帯川 利之 先生

開催期間：2023年 4月20日(木) — 5月14日(日)

申込締切：2023年 5月 8日(月)

古代エジプトの文献には人類が旋盤を利用した痕跡があり、紀元前から現在に至るまで切削加工は、我々人類の物作りにおいて根幹をなす技術でした。現在においても、切削加工技術の進歩は止まりません。特に現在では、工作機械は、メカトロニクス技術や人工知能技術を統合してさらに複雑で精巧になっており、世界における熾烈な技術競争の前線として、その技術的な価値は高まるばかりです。しかしながら、工作機械は、材料力学・振動工学・機械工学・流体力学などを包含する機械工学の粋を集めた総合技術であるため、初学者にはその勘所がわかりにくくなっています。そこで、本講習会では、我が国の切削加工技術の第一人者として知られ、本学会における切削加工研究を長年牽引されてこられた東京大学 名誉教授 帯川 利之先生 をお招きして、切削加工をこれから学ぶ産業界の人たちに向けて、切削技術の基礎についてご講義をいただきます。これから切削加工を学びたい、切削加工を基礎から学び直したいと考える方々に、学ぶための重要な勘所を学んでいただくための学びをお伝え頂きます。工作機械を学んだことのない新入社員の方や、切削技術の体系を学び直したい方、多くの方々のご視聴をいただきたく、皆様のお申し込みをお待ちしております。

【講師】東京大学 名誉教授 帯川 利之 先生 (東京工業大学 名誉教授)



精密工学会 精密工学会フェロー
日本機械学会 日本機械学会フェロー

精密工学会 精密工学会賞
日本機械学会 日本機械学会生産加工・工作機械部門優秀講演論文表彰
工作機械技術振興財団 工作機械技術振興賞 (論文賞)
工作機械技術振興財団 工作機械技術振興賞 (奨励賞)
など多数

【プログラム】

Part I	Part II
1. 矛盾の顛末: 除去加工・切削加工の基礎	4. その効果は如何に: 高圧クーラントと切りくず処理
2. 速度を下げてはいけない: 高硬度材の切削	5. 円弧切削の条件設定がややこしい: エンドミル切削
3. こんなはずではなかった: 工具欠損	6. 工具選択の基礎知識として: 刃形やコーティング

【視聴方法】 本講習会はクラウドサービス BOX を用いてオンライン開催いたします。
Box 内の指定フォルダへアクセスすることで、オンデマンド形式での閲覧が可能になります。
講演動画の再生時間は 約 90 分間で、期間内であれば何度でもご視聴いただけます。
本講習会での講演に対する質問は、アンケートにて承り、講師の先生よりご回答をいただきます。
視聴用の URL 情報は、参加申込時に登録いただいたメールアドレスに追ってご連絡いたします。
講習会テキストをヤマト運輸クロネコ DM 便で発送いたします。
最長、発送日を含む 3 日での到着予定です。お早めのお申し込みをおすすめいたします。

【参加費】 正会員・賛助会員 7,000 円、非会員 30,000 円、
学生会員 2,000 円、学生非会員 10,000 円 *参加費・講習会テキスト代とも消費税を含みます。
*賛助会員参加無料券をお持ちの方は是非ご利用下さい。
*講習会テキストのみ、または聴講者で 2 冊以上ご希望の場合、1 冊 5,000 円 (税込)

お申込み
フォーム



【申込方法】 ホームページ (https://www2.jspe.or.jp/form/koshukai/koshukai_form2.html) からお申込み下さい。
お問合せ先: (公社) 精密工学会 電話 03-5226-5191, FAX 03-5226-5192

【注意事項】 ・視聴用 URL は講習会に登録された参加者のみ利用可能とし、再配布を禁止いたします。また受講者は、動画の録音や画像のキャプチャーおよびそれらの再利用や転載を禁止いたします。もし発見された場合、事務局は削除を要求できることとします。
・動画視聴等に関わる技術サポートは提供いたしません。また、視聴中に視聴期間を過ぎると再生できませんのでご注意ください。
・Box 利用の際に、無料のアカウント登録が必要となります。セキュリティ設定等により Box にアクセスできない場合がありますので、参加申込前に下記 URL のテスト動画により動作確認をお願いいたします。
*テスト動画 URL : <https://jspe-jp.app.box.com/s/i3fduiviph2cq74whfid82mpyyzas0dp>

【主催】 公益社団法人 精密工学会 (東京都千代田区九段北 1-5-9 九段誠和ビル 2F)
企画: 事業部会 事業企画委員会
企画担当者: 森田晋也 (東京電機大学), 菅 洋志 (千葉工業大学)